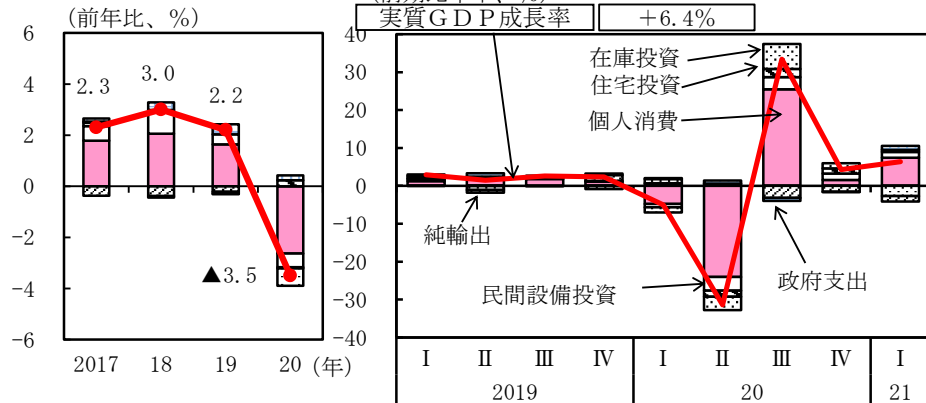


1. アメリカ

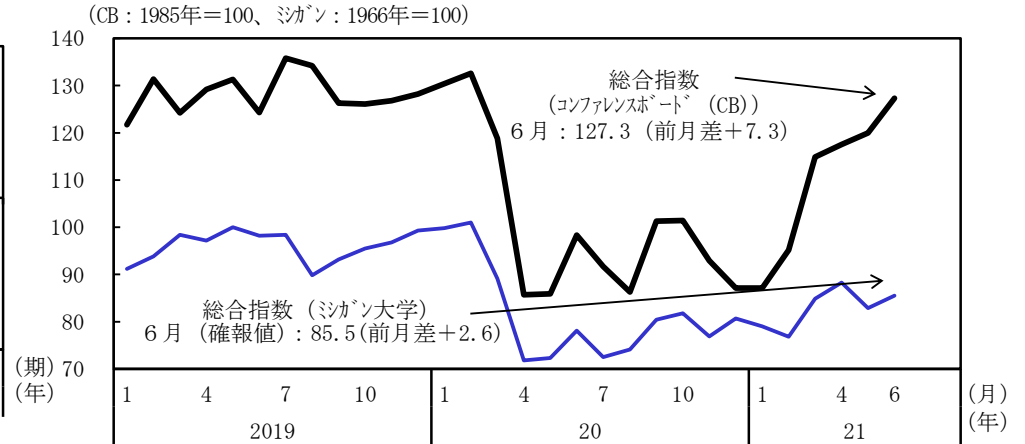
○アメリカでは、景気は依然として厳しい状況にあるが、着実に持ち直している。

①実質GDP成長率（3次推計値）
2021年1-3月期は前期比年率+6.4%成長
(前期比年率、%)

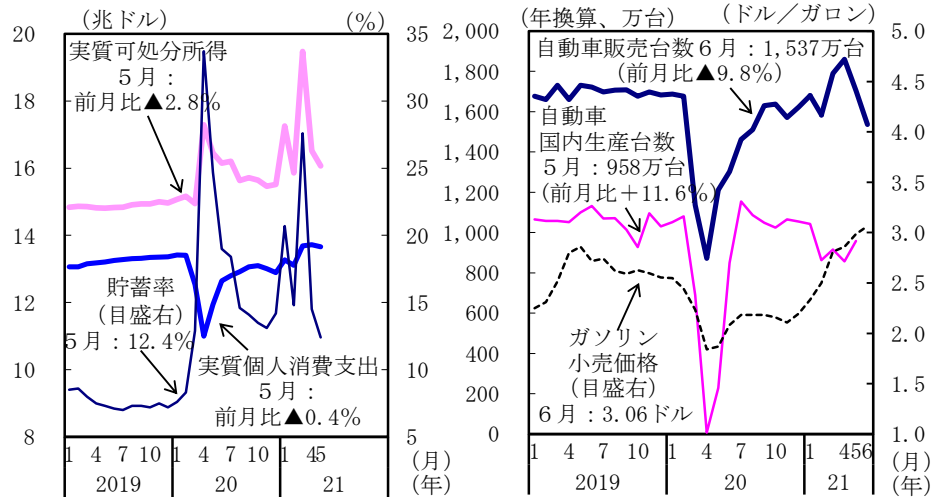


(備考) 2021年1-3月期の寄与度(%)は以下のとおり。個人消費：+7.4、民間設備投資：+1.5、住宅投資：+0.6、在庫投資：▲2.7、政府支出：+1.0、純輸出：▲1.5。

消費者信頼感指数

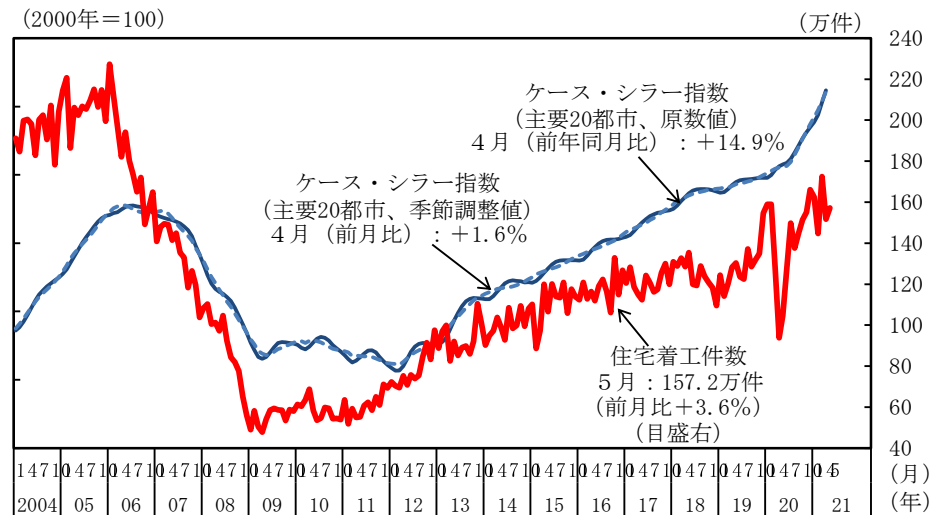


②消費は着実に持ち直し、
自動車販売台数はこのところ弱含み

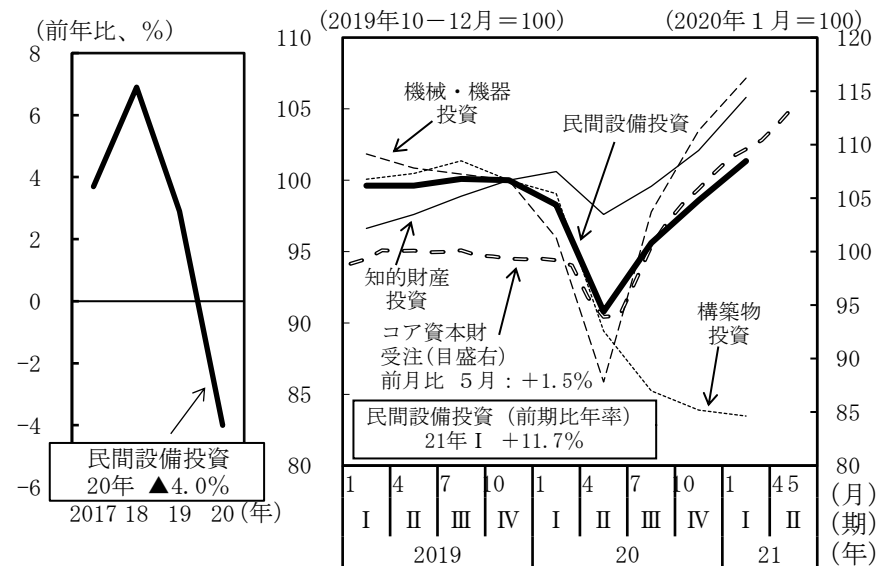


(備考) 月次の値は年率換算。

③住宅着工は緩やかに増加、住宅価格は上昇

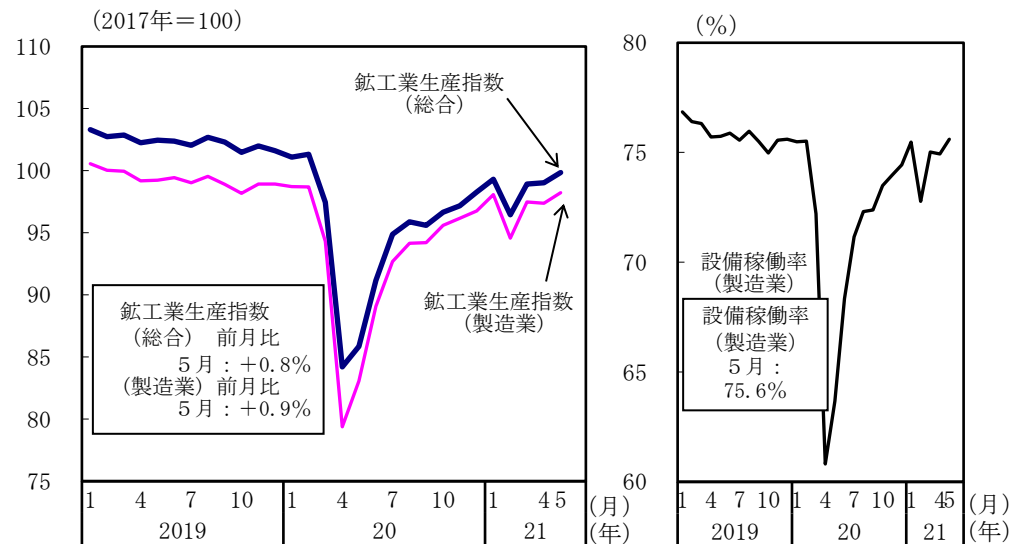


④設備投資は緩やかに増加

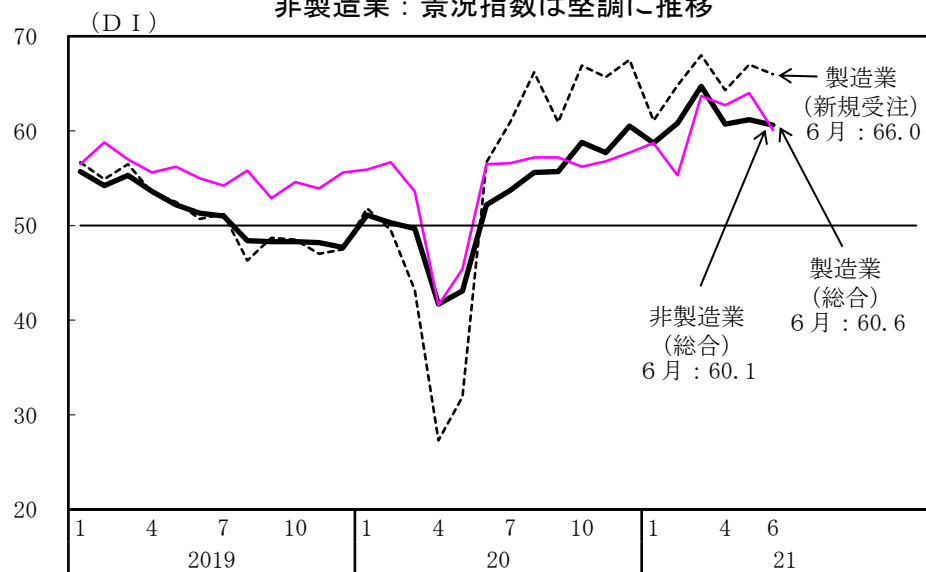


(備考) コア資本財受注は3か月移動平均値。

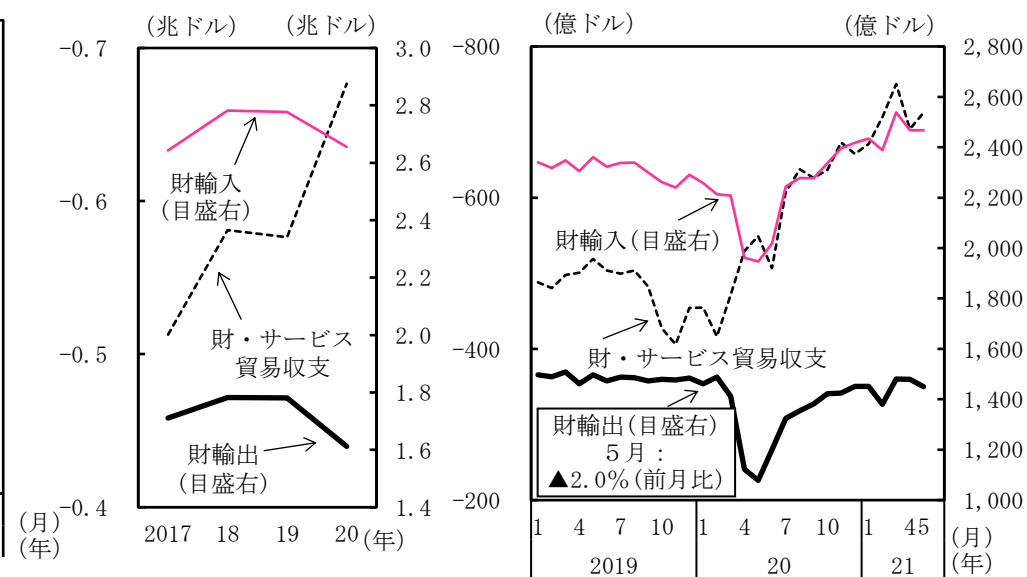
⑤生産は足踏みがみられる



製造業 : 景況指数は堅調に推移
非製造業 : 景況指数は堅調に推移

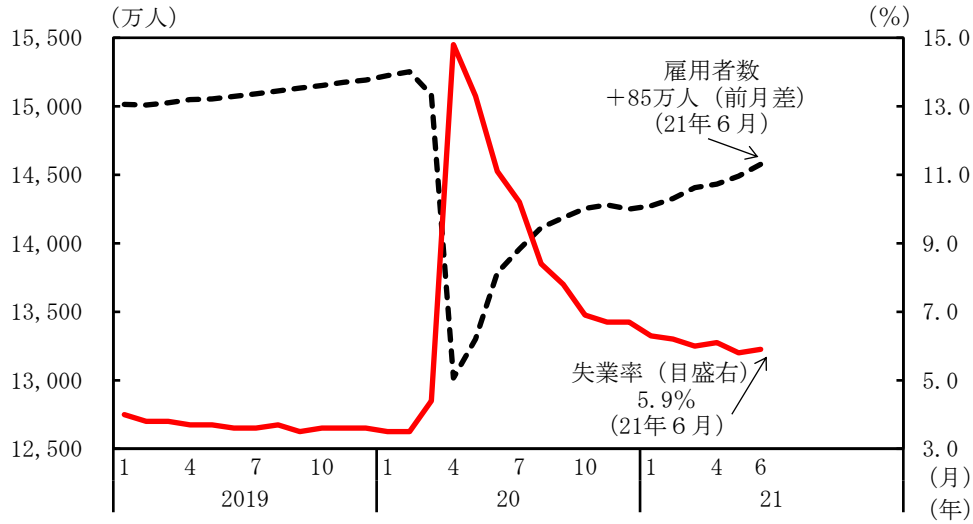


⑥財輸出は持ち直し



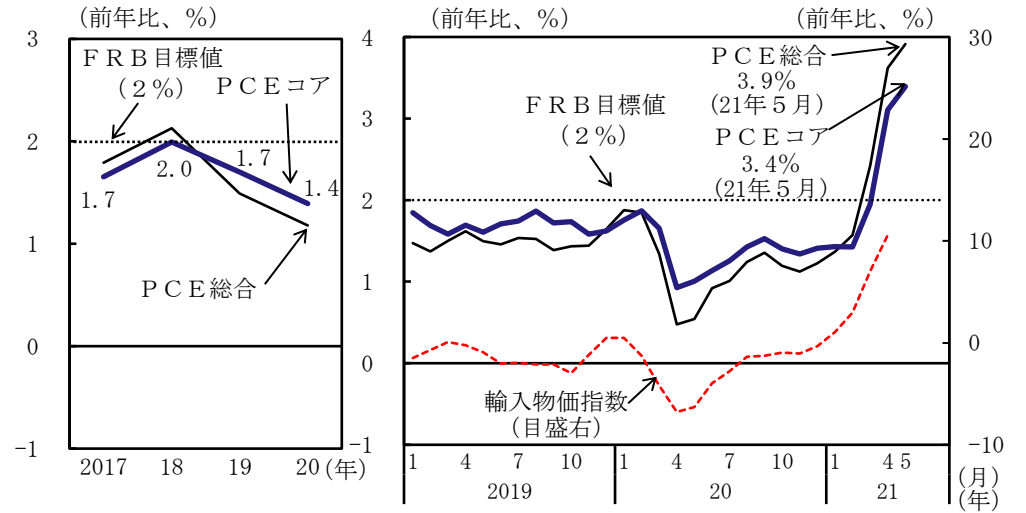
(備考) 財輸出入は通関ベース(実質)、財・サービス貿易収支は国際収支ベース(名目)。

⑦雇用者数は増加、失業率はやや低下



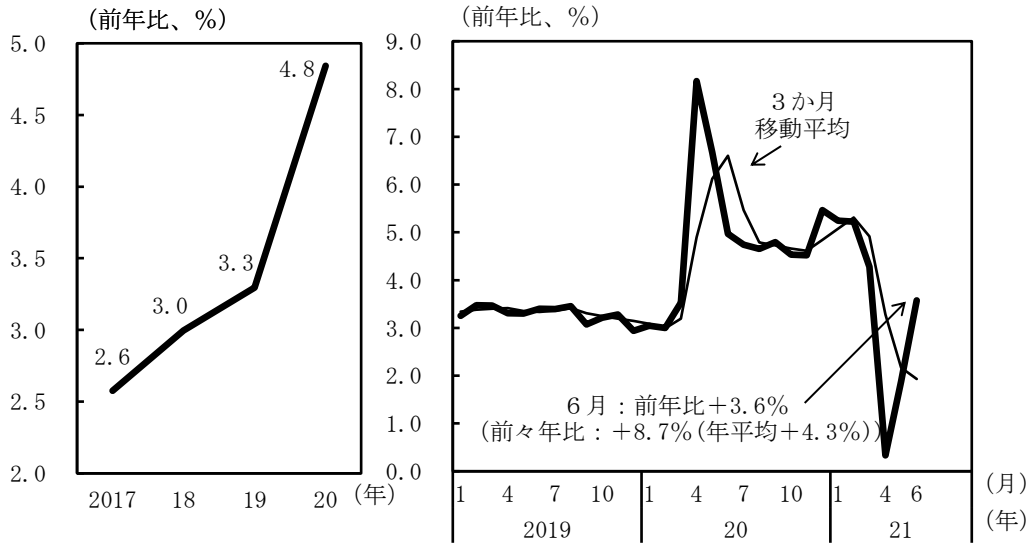
(備考) 雇用者数は非農業部門。

⑧コア物価上昇率は上昇



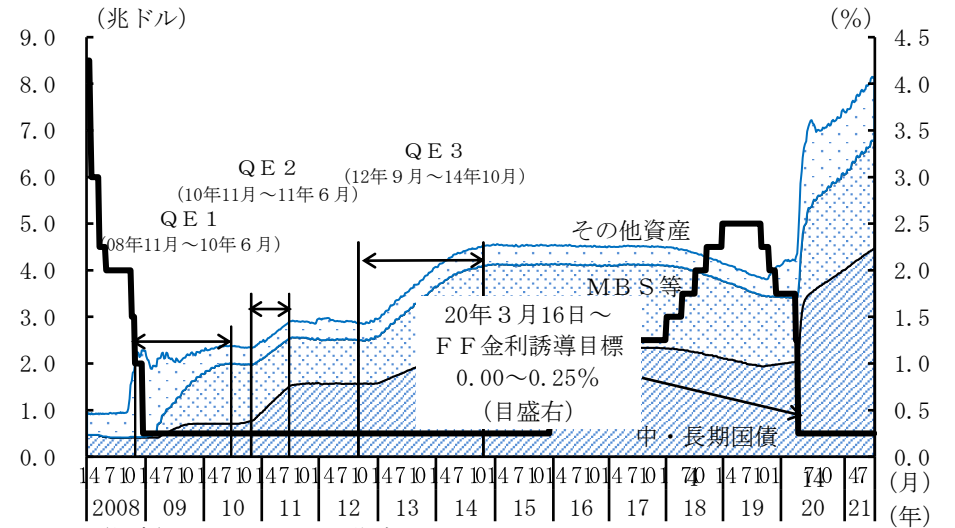
(備考) 1. 上図のPCEは、個人消費支出デフレーターを指す。
2. コア指数は、総合指数からエネルギーと食品を除いた指数。

賃金の伸びは上昇



(備考) 賃金の伸びは全雇用者の時間当たり賃金の前年比。

金融政策



(備考) 1. FRBより作成。
2. FF金利誘導目標については、上限を指す。